

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年02月06日

計画の名称	鉄道高架による踏切事故の解消及び駅前の歩行空間のバリアフリー化（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）											
交付対象	大阪府、岸和田市											
計画の目標	鉄道を高架化（限度額立体交差事業）し踏切を除却することにより、踏切事故の解消を図り安全かつ円滑な交通を確保するとともに、駅前の歩行空間のバリアフリー対策を実施し、安全・安心な地域づくりを実現するものである。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	23,506	A	23,493	B	0	C	13	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.05%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					(H28当初)	(H30末)	(H32末)
1	踏切除却することによる踏切事故確率の減少						
	踏切事故確率の減少				40%	100%	100%
	踏切数(5)の減少 = 踏切事故確率の減少(%)						
2	踏切における渋滞解消を図る。（府道岸和田港塔原線）						
	1日あたりの遮断時間の減少（府道岸和田港塔原線）				5時間	0時間	0時間
	1日あたりの踏切遮断時間 = 【当初：H27踏切実態調査データ（府道岸和田港塔原線）】						
3	踏切における渋滞解消を図る。（市道並松上松線）						
	1日あたりの遮断時間の減少（市道並松上松線）				7時間	0時間	0時間
	1日あたりの踏切遮断時間 = 【当初：H27踏切実態調査データ（市道並松上松線）】						
4	ボトルネック解消による踏切での待機時間を無くし、救命救急車両の搬送時間を短縮させる。						
	救命救急活動時の踏切影響の解消				2668件	0件	0件
	救命救急活動車両が踏切通過影響を受けた件数【平成27年度実績】						
5	駅前広場の歩行空間の整備によりバリアフリー対策率向上させる。						
	駅前広場等の歩道空間のバリアフリー化率の向上				28%	78%	100%
	道路整備率（東岸和田駅東停車場線：東岸和田駅前東側交通広場）						

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input checked="" type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・（大阪府地域強靭化計画）に基づき実施される要素事業：A01-001～A01-002												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											H28	H29	H30	H31	R02		
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	大阪府	直接	大阪府	都道府県道	改築	(主)岸和田港塔原線	限度額立体交差 L=2.1km	岸和田市						16,680	2.75	-
	A01-002	道路	一般	岸和田市	直接	岸和田市	市町村道	改築	(他)並松上松線	限度額立体交差 L=2.1km	岸和田市						6,643		-
	A01-003	道路	一般	岸和田市	直接	岸和田市	市町村道	改築	市道東岸和田駅東停車場線	停車場線 L=80m、駅前広場 A=5,000m ²	岸和田市						170		-
																	23,493		
																	合計	23,493	

C 効果促進事業																		
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02		
		一體的に実施することにより期待される効果																
備考																		
道路事業	C01-001	道路	一般	岸和田市	直接	岸和田市	-	施設整備	東岸和田駅付近高架下整備事業	駐輪場等 A=4,500m ²	岸和田市						13	-
		迷惑駐輪等の減少、歩行者等の安全で円滑な通行の確保、街の良好な生活環境・景観の維持・向上が図られ、駅前広場等の歩行空間のバリアフリー化を図った機能がより有効に活用される。																
												小計					13	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	1,274	1,155	1,369	152	66
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	1,274	1,155	1,369	152	66
前年度からの繰越額 (d)	0	10	0	0	41
支払済額 (e)	1,264	1,165	1,369	111	107
翌年度繰越額 (f)	10	0	0	41	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					